

2040～2050年にリーダーになっている若い層が今、何を感じているのか



調査目的

withコロナ時代の若者意識、コロナは若者にどう影響を与えたか
大人とは時間感覚の異なる貴重な青春時代をコロナと過ごすことになった若者の今の声を届ける

調査方法

インターネット調査

調査期間

2020年6月5日（金）～7日（日）

調査地域

全国

対象者条件

15～45歳の男女（除外条件：本人および同居家族のマスコミ・広告・市場調査関係者の場合）

割付セル

高校1年生／高校2年生／高校3年生／大学1年生／大学2年生／大学3年生／大学4年生／
新社会人1年目／社会人10年目／社会人20年目（各セル50ssで割り付け、地域割り付け無し）

回収サンプル数

1,000ss

調査内容

緊急事態宣言発令期間の生活充実度/生活充実度を分けた要因/未来への期待感・不安感/
大人に対する意識/外出自粛に対する意識/外出自粛が解けた今の気持ち/
メディアに対する信頼意識/SNS利用における意識変化/リアル⇄オンラインコミュニケーション意識
コロナ以前、後における生活意識変化/その理由

調査機関

電通マクロミルインサイト

withコロナ時代の若者意識

— コロナは若者にどう影響を与えたか —

「withコロナ時代の若者意識」調査

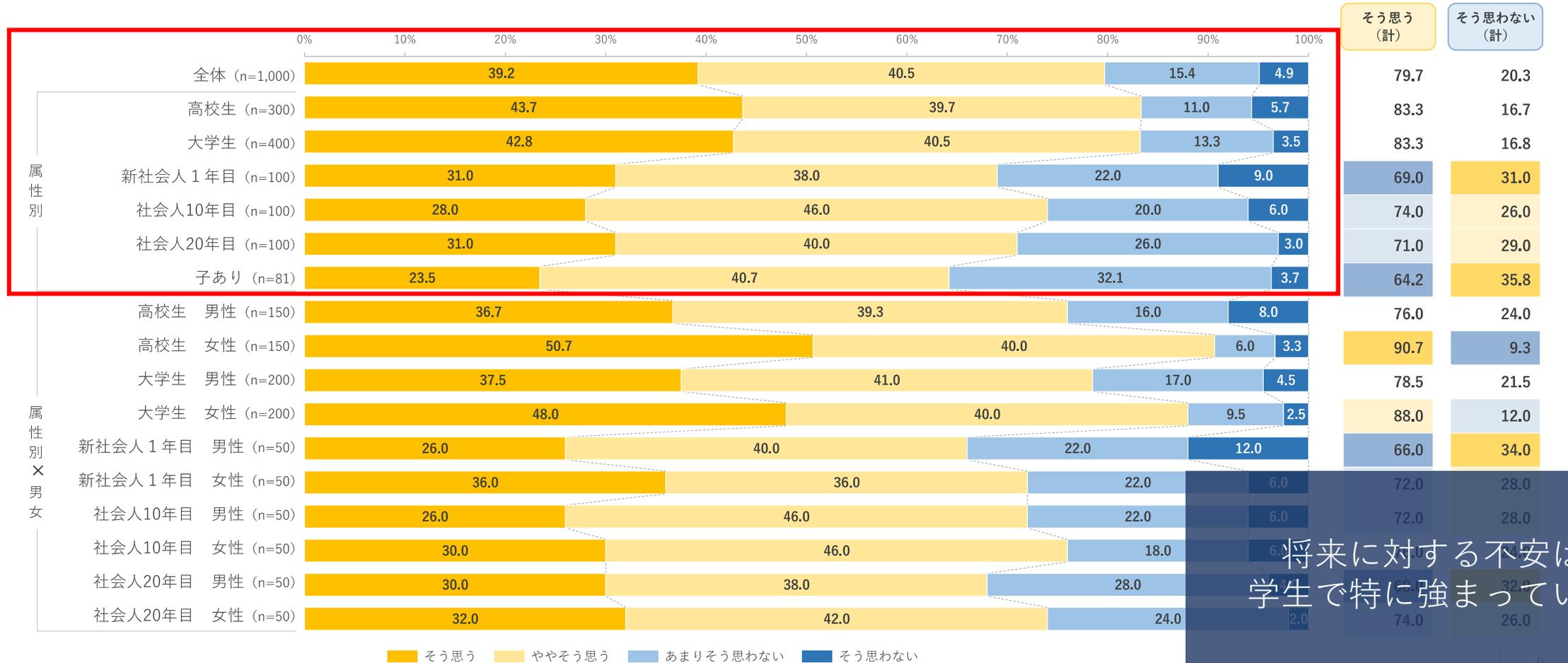
Q.02 次に挙げる「未来への期待感や不安感」について、あなたはどの程度あてはまりますか。あなたの考え・お気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつお選びください。



① 自分の将来が不安だ

- 「自身の将来不安」は、全体で「そう思う(計) (「そう思う」 + 「ややそう思う」)」は約8割。
- 属性別では若年層の高校生(83.3%)、大学生(83.3%)の「そう思う(計)」のスコアが高く、属性別×男女では若年層の中でも女性(高校生女性(90.7%)、大学生女性(88.0%))の「そう思う(計)」のスコアが高い。

[比率の差]



将来に対する不安は学生で特に強まっている

「withコロナ時代の若者意識」調査

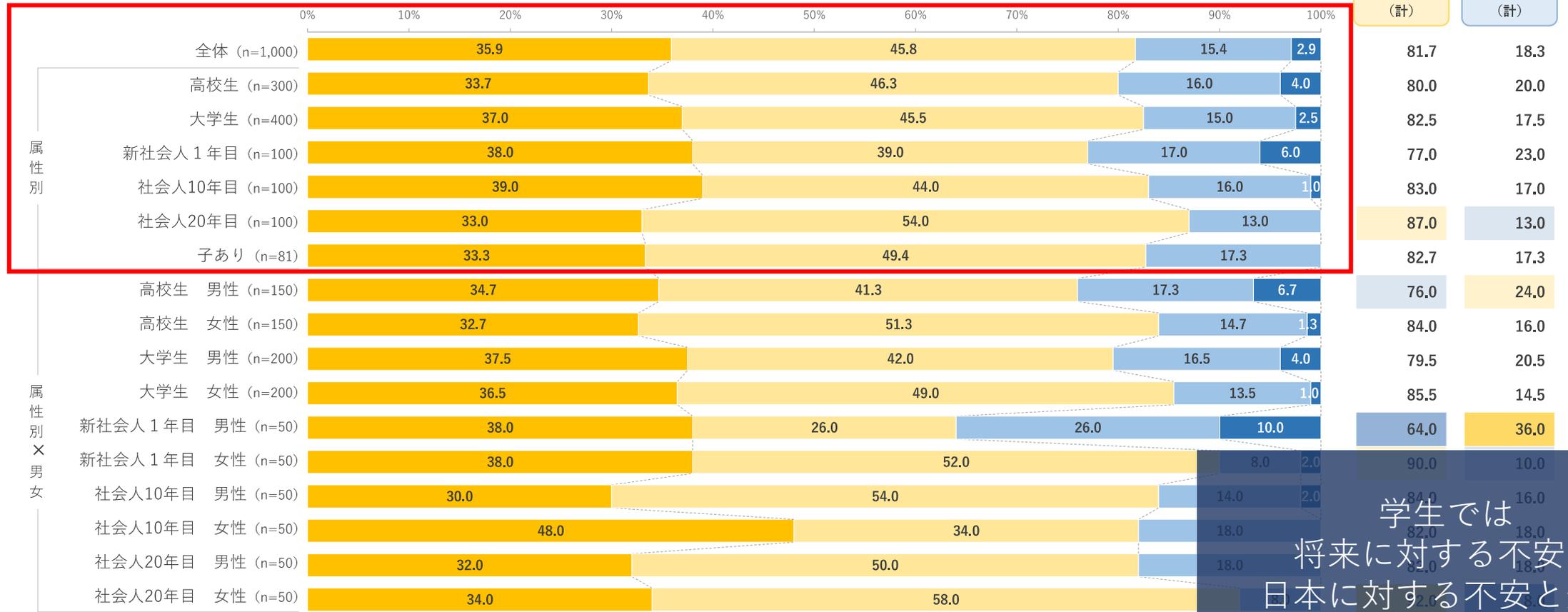
Q.02 次に挙げる「未来への期待感や不安感」について、あなたはどの程度あてはまりますか。あなたの考え・お気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつお選びください。

② 日本の将来が不安だ



- 「日本の将来不安」は、全体で「そう思う(計)」は約8割超。
- 属性別×男女では、全体と比較して「新社会人1年目 男性」の「そう思う(計)」が17.7ポイント低く、唯一ポジティブな見解を示す人が多く、「新社会人1年目 女性」の9割と比較しても男女差が際立つ。

[比率の差]
 ■ 全体+10ポイント ■ 全体-10ポイント
 ■ 全体+5ポイント ■ 全体-5ポイント



学生では
 将来に対する不安は
 日本に対する不安と連動

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

「withコロナ時代の若者意識」調査

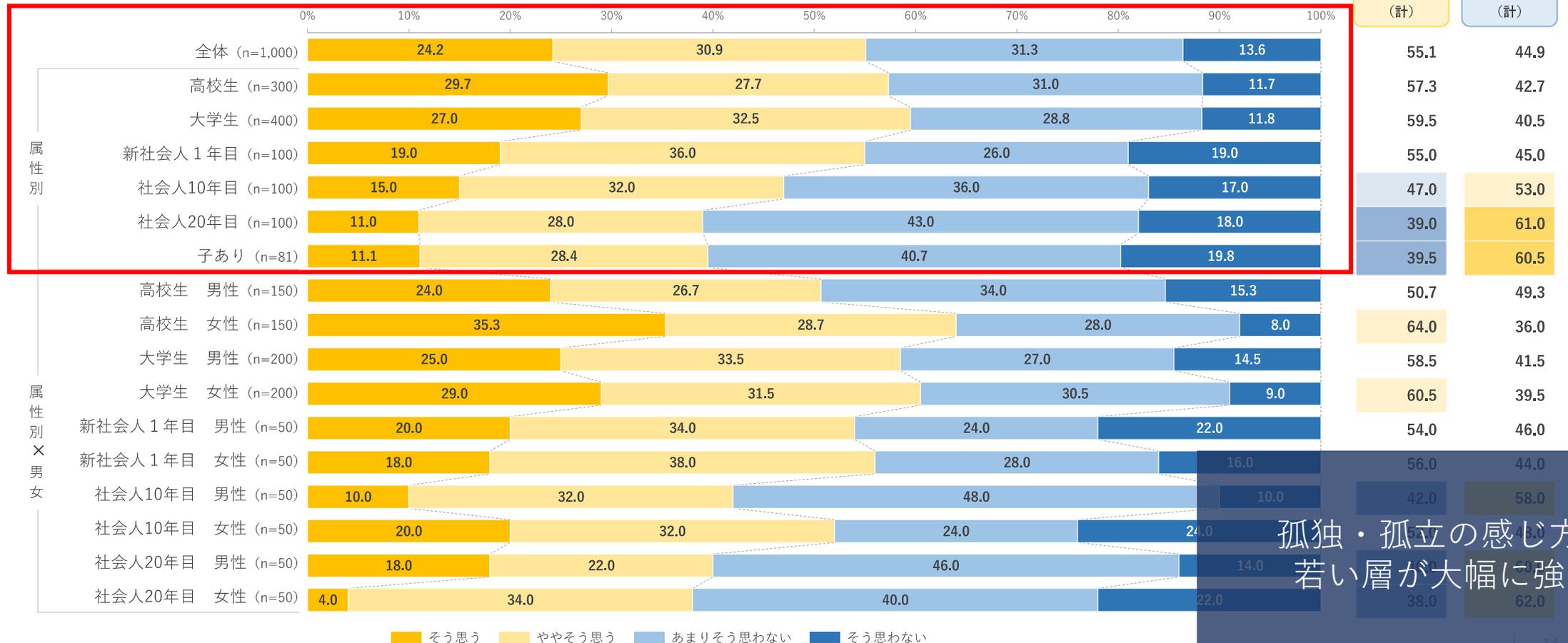
Q.02 次に挙げる「未来への期待感や不安感」について、あなたはどの程度あてはまりますか。あなたの考え・お気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつお選びください。

⑥ 自分だけが取り残されているような気がしてしまう



- 「自分だけが取り残されているような気がしてしまう」は、「そう思う(計)」が55.1%と半数を超える。
- 若年層ほど、「自分だけが取り残されているような気がしてしまう」という「孤独・孤立感」は強く、年代差は顕著。
- 属性別×男女では若年層の中でも女性（高校生女性（64.0%）、大学生女性（60.5%））の「そう思う(計)」のスコアが高い。

[比率の差]



孤独・孤立の感じ方は若い層が大幅に強い

「withコロナ時代の若者意識」調査

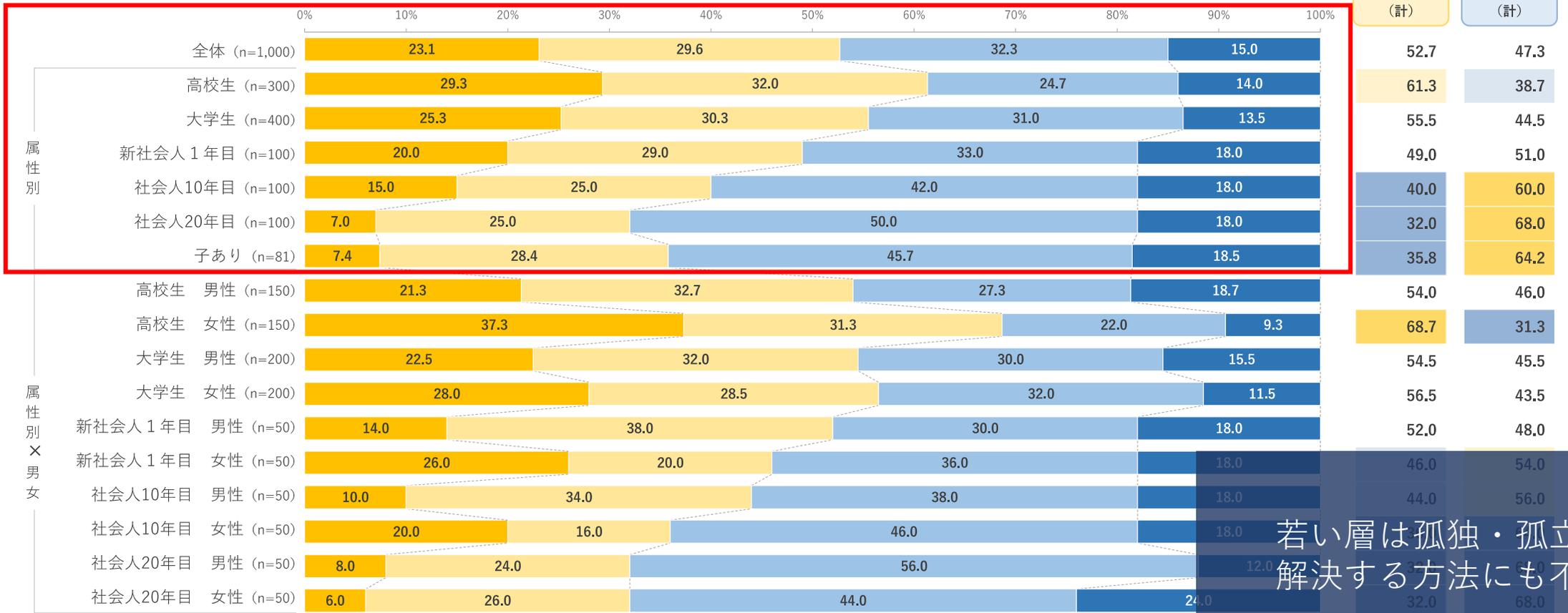
Q.02 次に挙げる「未来への期待感や不安感」について、あなたはどの程度あてはまりますか。あなたの考え・お気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつお選びください。

⑦ 友だちや交友関係をどうやって広げていけばいいか不安だ



- Physical/物理的な接点を強制的に断たれたことで、「友だちや交友関係をどうやって広げていけばいいか不安だ」という「孤独・孤立感」は、「そう思う(計)」が52.7%。
- 若年層ほど、「友だちや交友関係をどうやって広げていけばいいか不安だ」という「孤独・孤立感」は強く、年代差は顕著。
- 属性別×男女では特に、「高校生 女性」(68.7%)でおよそ7割に上る。

[比率の差]
■ 全体+10ポイント ■ 全体-10ポイント
■ 全体+5ポイント ■ 全体-5ポイント



若い層は孤独・孤立を解決する方法にも不安

「withコロナ時代の若者意識」調査

Q. 03 今現在の「大人に対する気持ち」について、あなたはどの程度あてはまりますか。あなたの考え・お気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつお選びください。

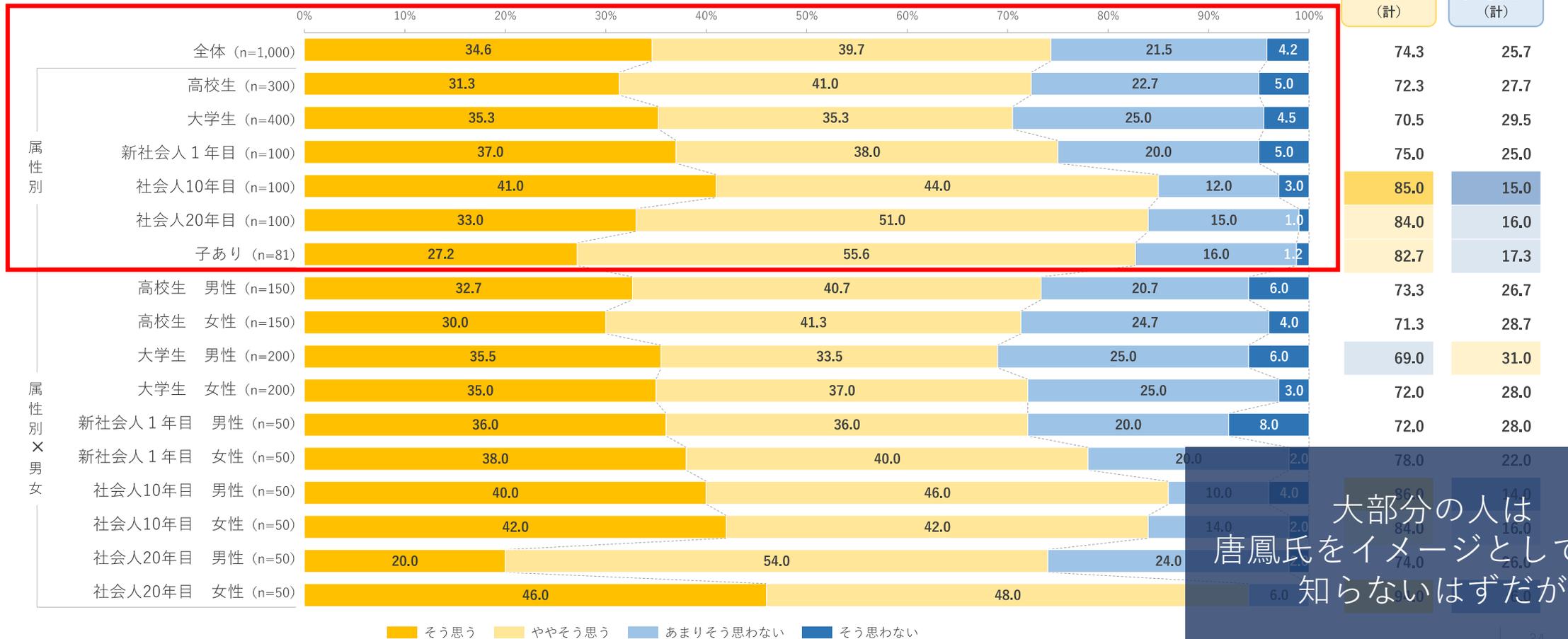


⑨ 台湾の大臣のようないち早く陣頭指揮を取れる人が日本にもいてほしい

- 各国首脳の対応差が露呈したコロナ禍において注目された、IT専門家を擁す「台湾の大臣のようないち早く陣頭指揮を取れる人が日本にもいてほしい」は「そう思う(計)」がおよそ4人に3人(74.3%)に上った。
- 属性別では、「社会人10年目」「社会人20年目」など上の年代で多く、特に「社会人20年目 女性」では「そう思う」(TOP1)が約半数を占め、「そう思う(計)」は94.0%に達する。

[比率の差]

■ 全体+10ポイント ■ 全体-10ポイント
■ 全体+5ポイント ■ 全体-5ポイント



大部分の人は
 唐鳳氏をイメージとしてしか
 知らないはずだが

「withコロナ時代の若者意識」調査

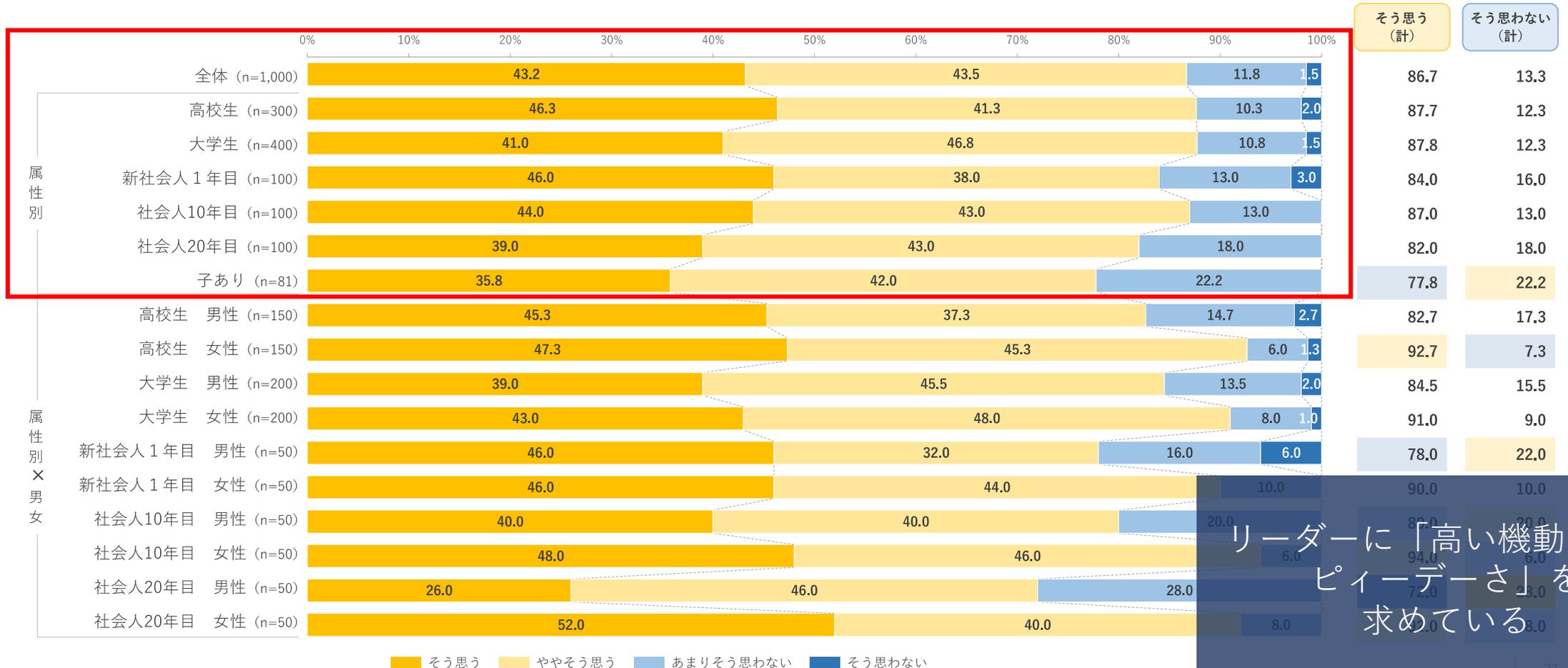
Q. 03 今現在の「大人に対する気持ち」について、あなたはどの程度あてはまりますか。あなたの考え・お気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつお選びください。

⑥ これからのリーダーには、機動力高く、スピーディーに変化に柔軟に対応していける力が求められると思う



- 「これからのリーダーには、機動力高く、スピーディーに変化に柔軟に対応していける力が求められると思う」は、「そう思う(計)」が86.7%と多数派。
- 世代差は少なく、ほぼすべての年代で8割を超す。
- 特に女性でのニーズが高く、すべての年代の女性で9割を超えている。

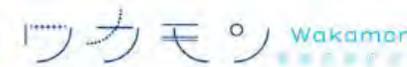
[比率の差]
 ■ 全体+10ポイント ■ 全体-10ポイント
 ■ 全体+5ポイント ■ 全体-5ポイント



リーダーに「高い機動力とスピーディーさ」を求めている

「withコロナ時代の若者意識」調査

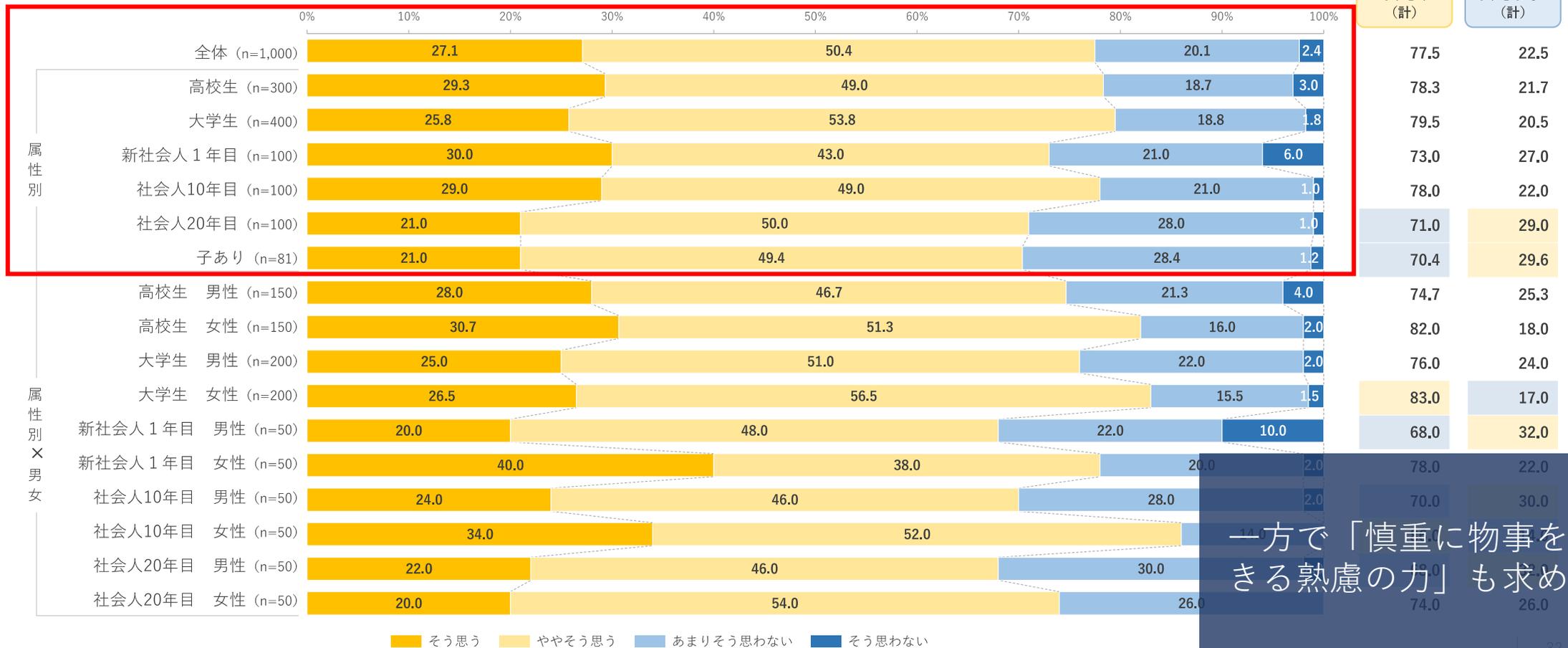
Q.03 今現在の「大人に対する気持ち」について、あなたはどの程度あてはまりますか。あなたの考え・お気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつお選びください。



⑦ これからのリーダーには、慎重に物事を判断できる熟慮の力が求められると思う

- 「これからのリーダーには、慎重に物事を判断できる熟慮の力が求められると思う」は、「そう思う(計)」が77.5%と多数派。
- 世代差は少なく、ほぼすべての年代で7割を超す。
- 特に女性でのニーズが高く、前問の「スピーディーさ」だけでなく、同時に「熟慮の力」もこれからのリーダー像には併せ持つことが期待されている。

[比率の差]



一方で「慎重に物事を判断できる熟慮の力」も求めている

宇宙開発が今、若い層の意識・心理に対し貢献できること

高まっている 若い層の意識・心理

コロナ自体ではなく
将来に対する不安・
日本に対する不安

孤独・孤立と、その
解決方法もわからない
不安

未知の不安からくるカ
リスマ（性）への期待、
希望への渴望

関連する懸念

- ・ ゆとり世代→さとり世代→悲観世代(?)
- ・ 社会の前進感覚、時代の方向感覚の喪失
- ・ リアルイベント消失、仲間と共有できることの減少
- ・ 社会、社会インフラとの接点減少→コミュニティ・国への帰属意識希薄化の懸念も

宇宙開発が貢献できること

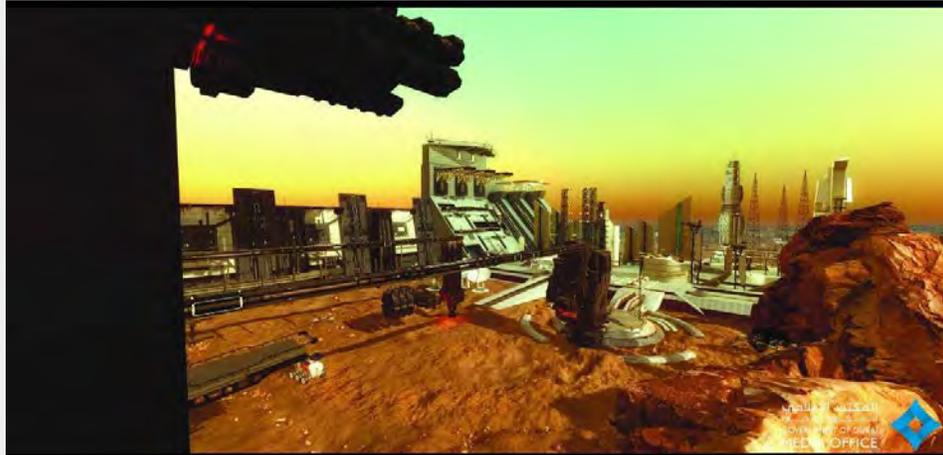
⇒ 宇宙開発の進展を、国や社会がたしかに前進していることのシンボルに
(宇宙＝技術進歩の象徴→社会前進の象徴)

⇒ 日本の宇宙開発ロードマップ（具体的な年数付き）を国民全体で共有可能な未来イベントに（"2020"の代替も）

⇒ 常に未知が存在する宇宙開発への取り組みや姿勢をリアリティを持った精神的支柱に

UAEの火星移住計画は国民に何をもたらすか

- ・ UAEは2017年に「火星移住計画：Mars 2117」を発表。100年後の2117年までに火星に人口60万人規模の街を作り人類を居住させるという
- ・ 関係機関の設立、「火星環境模擬施設」の建設、火星探査機の打ち上げ（2020.7.20にH-IIAにて「HOPE」打ち上げ済み）等を計画
- ・ 宇宙開発の技術獲得、防衛能力の獲得などがあるが、同時に安定した生活が約束されている若い国民に対し、国のビジョンを示し、挑戦心や野心を刺激する期待も



2017年に発表した火星ミニシティイメージ
(画像：ムハンマド・アル・ガルガウィUAE副大統領twitter)



2017年に発表した
地上「火星環境模擬施設」のイメージ
(画像：ムハンマド・アル・ガルガウィUAE副大統領twitter)



2020年7月20日にH-IIAにて
打ち上げられたUAEの火星探査機「HOPE」
(HOPE画像：UEA MARS MISSION
打ち上げ画像：MHI公式twitter)

宇宙開発利用の未来（2040～2050頃）

広告・コミュニケーション業界視点で考えられること

地球周回衛星

- ・衛星製造コスト、打ち上げコストの大幅低減（衛星活用が気軽に）
- ・小型衛星の多機能化、高性能化（現在よりさらに小型、マルチファンクショナルにも）
- ・衛星活用目的の自由化・多様化（自由な目的で民間企業・個人が衛星を打ち上げ可能に）

国際宇宙ステーション （地球低軌道）

- ・ISSの商業利用枠の拡大
- ・ISSの商業利用を目的とした増築・改築
- ・ISSを母船としドッキング&離脱が可能な小型宇宙船の運用
- ・商用利用ベースの第2のISS建造

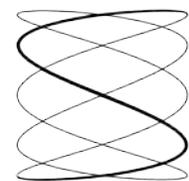
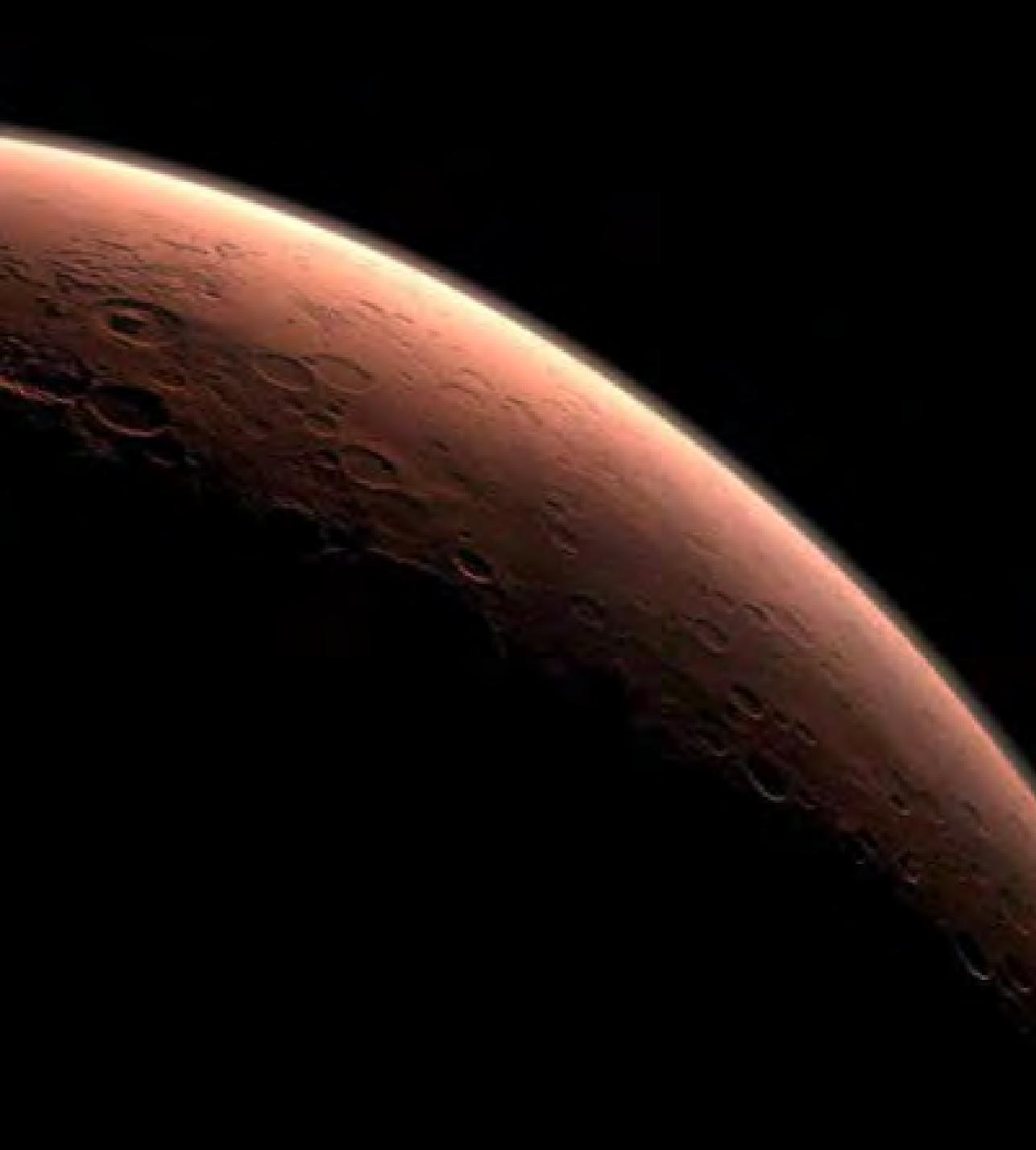
※ NASA Plan for Commercial LEO Development を参照

月・火星探査

- ・月面基地での人の滞在（数十人～数百人規模）
- ・月面での各種研究活動の開始
- ・火星への人の到達・滞在（数人～数十人規模）

広告・コミュニケーション業界視点で考えられること

	地球周回衛星	国際宇宙ステーション (地球低軌道)	月・火星探査
to 企業	<ul style="list-style-type: none"> リアルタイムデータのマーケティング活用 衛星データ（位置など）の広告キャンペーン利用 広告キャンペーン目的での衛星打ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ステーション滞在をキャンペーン賞品に利用 ステーション壁面の広告販売 全体/モジュールのネーミングライツ販売 特定の企業専用のモジュール建造 	<ul style="list-style-type: none"> 月面交信イベントの広告キャンペーン利用 月資源等のキャンペーン賞品利用 月面に企業棟建造
メディア・コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> 気象データ等を使った屋外メディアの価値算定 鑑賞目的衛星の運用 超高画質/全球リアルタイム観測映像の撮影、コンテンツ利用（ゲームなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ISSでの映画/ドラマ/リアリティーショー制作 	<ul style="list-style-type: none"> 月面、火星表面の紹介コンテンツ制作 月面での生中継番組制作 火星に行く宇宙飛行士のドキュメンタリー制作
to 個人	<ul style="list-style-type: none"> メモリアルグッズの軌道周回 衛星の個人所有 	<ul style="list-style-type: none"> ステーションでのメモリアルグッズの加工製作 各種ステーション設備の遠隔利用 個人へのステーション滞在販売 文化人/芸術家の活動の場としてのステーション活用 	<ul style="list-style-type: none"> 月周回軌道への個人旅行 個人への月面滞在販売 メモリアルグッズの火星への持ち込み



Dentsu
Space
Lab

電通宇宙ラボ

薬師寺 肇
h.yakushiji@dentsu.co.jp